

令和7年度 単元評価計画

教科	技術	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとめの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4編1章 情報の技術の原理・法則と仕組み	4	①情報の技術とは何だろう ②情報のデジタル化 ③情報通信ネットワークの仕組み ④安全に利用するための情報モラル ⑤安全に利用するための情報セキュリティ ⑥情報の技術の工夫を読み取ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。(知) ・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。(知) ・情報通信ネットワークの構成について理解している。(知) ・情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。(知) ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。(知) ・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に情報の技術について考えようとしている。(態) ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。(態) ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。(態)
4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ★統合的な問題解決	5	①計測・制御システムとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③計測・制御システムを構想しよう ④計測・制御システムのプログラムを制作しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。(知) ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。(知) ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。(思) ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思) ・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ★主体的に情報の技術について考えようとしている。(態) ★自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイディアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) ★他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ★自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)

令和7年度 単元評価計画

4編2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	5	<ul style="list-style-type: none"> ①双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③コンテンツを構想しよう ④コンテンツのプログラムを作成しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。(知) ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けています。(思) ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けています。(思) ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けています。(思) ・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けています。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。(態) ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造とともに、他者のアイディアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(態) ・7他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(態)
4編4章 社会の発展と情報の技術	2	<ul style="list-style-type: none"> ①情報の技術の最適化 ②これからの情報の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術の概念について理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術の最適化について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。(思) 	<p>★よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)</p>
技術分野の学習を終えて	2	学んだことを社会に生かす			<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)